

2024年 8月6日

株式会社 バイタルケーエスケー・ホールディングス

2025年3月期(第16期) 第1四半期 決算補足説明資料

©VITAL KSK HOLDINGS, INC.

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスの2025年3月期 第1四半期の決算補足説明資料です。

本日開示した決算短信と併せてご覧ください。

1. 2025年3月期 第1四半期 決算ハイライト

まず、2025年3月期 第1四半期 決算ハイライトです。

損益概況

単位:百万円、%

	前年同期実績		2025年3月期 第1四半期 実績				2025年3月期 第2四半期 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	前年比	進捗率	金額	売上比
売上高	144,542	-	146,266	-	101.2	49.4	296,000	-
営業利益	1,167	0.81	1,231	0.84	105.5	44.0	2,800	0.95
経常利益	1,470	1.02	1,504	1.03	102.3	45.6	3,300	1.11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	917	0.63	1,045	0.72	114.0	47.5	2,200	0.74

連結の損益概況については、コア事業の医薬品卸売事業が牽引し、増収増益となりました。

また特に、親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券の売却益を計上したことにより、二桁の増益となりました。

医薬品卸売事業

単位:百万円、%

	前年同期実績		2025年3月期 第1四半期 実績			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高	135,922	-	137,403	-	1,480	101.1
売上総利益	9,572	7.04	9,722	7.08	150	101.6
販管費	8,517	6.27	8,554	6.23	37	100.4
営業利益	1,054	0.78	1,167	0.85	113	110.7

1. コアビジネスである医薬品卸売事業は増収増益を確保
2. 新型コロナウイルス感染症関連の販売が減少
3. 抗がん剤を中心とした新薬創出加算品の販売や複数の新規開業による医療機器等の販売増による伸長

< カテゴリごとの伸び率 >

医療用医薬品	101.0%
試薬医療機器	103.4%
一般用医薬品	97.2%

続いて、セグメント別の状況です。

まず、医薬品卸売事業については、薬価改定の影響のほか、前年同期に計上した新型コロナウイルス感染症関連の販売(ワクチン等配送業務受託による売上、治療薬、検査キット等)が減少するなどマイナスの影響はあったものの、抗がん剤を中心とした新薬創出加算品の販売や複数医療機関の新規開業による医療機器の販売等があって、わずかに増収となりました。

利益面においては、この増収効果等により前年同期比で伸長いたしました。

以上の結果、売上高は137,403百万円(前年同期比101.1%)、セグメント利益(営業利益)は、1,167百万円(前年同期比110.7%)となりました。

■ 薬局事業

単位:百万円、%

	前年同期実績		2025年3月期 第1四半期 実績			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高	4,654	—	4,852	—	197	104.3
売上総利益	1,184	25.44	1,157	23.85	▲26	97.8
販管費	1,096	23.55	1,123	23.16	27	102.5
営業利益	87	1.89	33	0.70	▲53	38.6

1. 2024年3月に1店舗開局したことで売上高が伸長
2. 調剤技術料収入、薬学管理料収入の増大に努めるも、薬価改定の影響により減益

薬局事業については、2024年3月に1店舗開局したことで売上高が伸長した一方、利益面においては、調剤技術料収入および薬学管理料収入の増大に努めたものの、薬価改定の影響により減益となりました。

以上の結果、売上高は4,852百万円(前年同期比104.3%)、セグメント利益(営業利益)は33百万円(前年同期比38.6%)となりました。

動物用医薬品卸売事業

単位:百万円、%

	前年同期実績		2025年3月期 第1四半期 実績			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高	2,783	-	2,707	-	▲75	97.3
売上総利益	428	15.40	403	14.90	▲25	94.2
販管費	328	11.81	322	11.91	▲6	98.1
営業利益	99	3.59	80	2.99	▲18	81.0

1. 一部商品がメーカー直販となったこと等の影響により売上減
2. 仕入価格の上昇等が利益を圧迫

動物用医薬品卸売事業については、一部商品がメーカー直販となったこと等の影響により売上が減少し、2,707百万円(前年同期比97.3%)となり、仕入価格の上昇等も影響し、セグメント利益(営業利益)は80百万円(前年同期比81.0%)となりました。

■ その他事業

単位:百万円、%

	前年同期実績		2025年3月期 第1四半期 実績			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高	1,182	—	1,303	—	121	110.3
売上総利益	961	81.33	1,001	76.85	40	104.2
販管費	1,052	89.03	1,049	80.49	▲3	99.7
営業利益	▲90	—	▲47	—	43	—

1. 各事業において売上が回復
2. セグメント損失額が減少

その他事業セグメントについては、農薬卸売事業、介護事業、スポーツ関連施設運営事業において増収となり、セグメント損失額が縮小しました。

この結果、売上高は1,303百万円(前年同期比110.3%)、セグメント損失(営業損失)は47百万円(前年同期のセグメント損失は90百万円)となりました。

2. 2025年3月期 第2四半期 業績予想

次に、2025年3月期第2四半期の業績予想です。

2025年3月期 第2四半期 業績予想

単位:百万円、%

	2025年3月期 4-6月 実績		+	7-9月 見込		=	2025年3月期 第2四半期 見込	
	金額	売上比		金額	売上比		金額	売上比
売上高	146,266	-		149,734	-		296,000	-
営業利益	1,231	0.84		1,569	1.05		2,800	0.95
経常利益	1,504	1.03		1,796	1.20		3,300	1.11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,045	0.72		1,155	0.77		2,200	0.74

2025年3月期 7-9月 の主たる営業施策

1. コロナ患者数の増加によるコロナ関連商品の売上増
2. 子宮頸がんワクチンやインフルエンザワクチン等の販売に注力

当初見込から変更なし

前述のとおり、第1四半期(4-6月)の実績については、主力の医薬品卸売事業の増収増益が牽引し、薬局事業と動物薬卸売事業の減益をカバーし、連結でも各利益段階が増益になりました。

次に、第2四半期(7-9月)の見込については、薬局事業と動物薬卸売事業の収益状況が継続するものと想定されるため、第1四半期(4-6月)と同様に、主力の医薬品卸売事業がそのマイナス分をカバーする方針により、当初の第2四半期累計の見込みは変更しない予定です。

そこで、医薬品卸売事業では、次の営業施策を強力に展開する予定です。

1. 今夏のコロナ患者も第11波の到来(10頁のスライドを参照)と叫ばれているように増加傾向にありますので、当期計画に織り込んでいないコロナ関連商品(検査キットやコロナ治療薬等)の販売に最大限注力します。
2. 各地の地方自治体や医師会と連携して子宮頸がんワクチンの啓発活動を展開し(11頁のスライドを参照)、ワクチン需要を掘り起こして売上増に繋げるとともに、今秋の接種に向けてのインフルエンザワクチンの販売にも注力します。

自治体と協働した子宮頸がん啓発イベント



イベント当日のようす

盛岡市 市民公開講座

日時 2024年6月30日 10:00-12:30

会場 いわて県民情報交流センター
アイーナ7階 小田島組☆ほーる
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

プログラム

オープニング演奏 10:00~10:10
岩手県立盛岡第四高等学校 音楽部

開会 10:15~10:20
盛岡市医師会会長 吉田 耕太郎 先生

講演 10:20~10:50
「子宮頸がんってなあに？」
岩手医科大学産婦人科学講座 教授 馬場 長(つかさ) 先生

休憩 10:50~11:00

演技 11:00~11:20
岩手県立大学さんさ踊り実行委員会

特別講演 11:25~12:10
「子宮内腫瘍について」
岩手医科大学産婦人科学講座 助教 佐藤 千絵 先生
「スポーツ医学 アスリートと月経のお話」
岩手医科大学産婦人科学講座 助教 岩動 ちず子 先生

閉会 12:10~12:15
株式会社バイタルネット 取締役社長 鈴木 三尚

エンディング演奏 12:20~12:30
岩手県立盛岡第四高等学校 音楽部

ブース出展
・大塚製薬株式会社：女性対象の痔チェック(プレゼントあり)
株式会社バイタルネット：野菜摂取量測定

参加無料 申込不要

主催：株式会社バイタルネット 共催：盛岡市 盛岡市医師会
お問い合わせ：株式会社バイタルネット 岩手県民情報交流センター 総務部 019-638-8891

みんなにもっと知ってほしい
カラダのおはなし

こちらは、本年5月の本決算説明会でも取り上げた、岩手県盛岡市や盛岡市医師会と協働して開催した子宮頸がん啓発イベントのようすです。当日は、100名をゆうに超える住民の皆様に参加いただきました。また、今期に入り、岩手県二戸市、山形県山形市とも、新たに協定を締結いたしました。

当社は、地域に根差した企業グループとして、これからも自治体等と協働した取り組みを通じ、地域の皆様の健康維持・増進に貢献していきます。また、このような活動を通じてワクチンをはじめとした医薬品等の健康関連商品の需要の掘り起こしを行うとともに、医療機関以外の販路拡大にも取り組んでまいります。

3. 自己株式の取得状況について

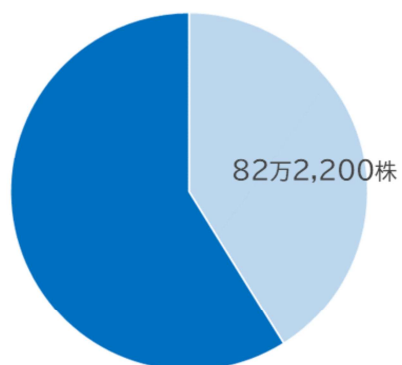
最後に、自己株式の取得状況です。

自己株式の取得状況

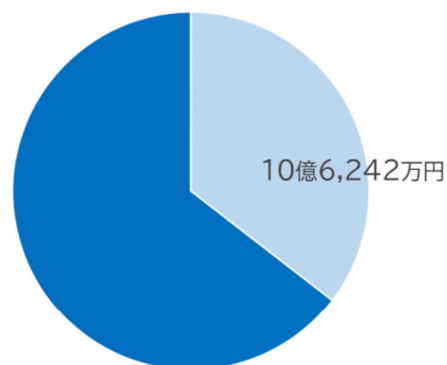
2024年7月31日 現在

期間 : 2024年5月14日から2025年3月24日まで
株式総数 : 200万株(上限)
取得価額総額 : 30億円(上限)

取得した株式の総数



株式の取得価額の総額



当社は、2024年5月14日から2025年3月24日までの期間で、自己株式の取得(上限株数200万株、上限金額30億円)を実行しています。

2024年7月31日現在で、自己株式を株数82万2,200株、金額10億6,242万円を取得しています。

したがって、株数で117万7,800株、金額で19億3,757万円の取得枠が残されています。

■ 将来見通しに係る記述事項

本資料で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績はこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを、ご承知おきください。

従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際にこれらの見通しのみで全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本資料に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したりこれらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてお願いいたします。

将来見通しに係る記述事項につきましては、ここに記載の通りです。

■ お問い合わせ先

株式会社 **バイタルケ-エスケー-ホールディングス**

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5787-8550

Mail : ir@vitalksk.co.jp

担当 : 佐藤、南城

お問い合わせは、当社コーポレートコミュニケーション部までお寄せください。